

資料目録

地域資料：臼井吉見文学館資料（増澤フユミ氏資料）

点数 144点

年代 1926（昭和元）年～1989（平成元）年

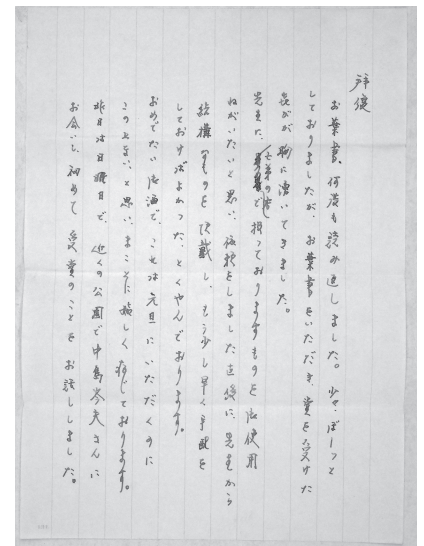
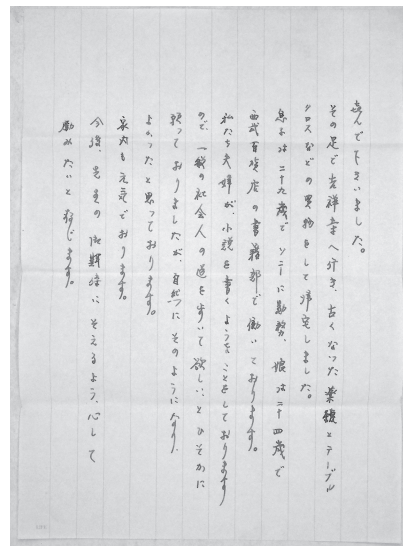
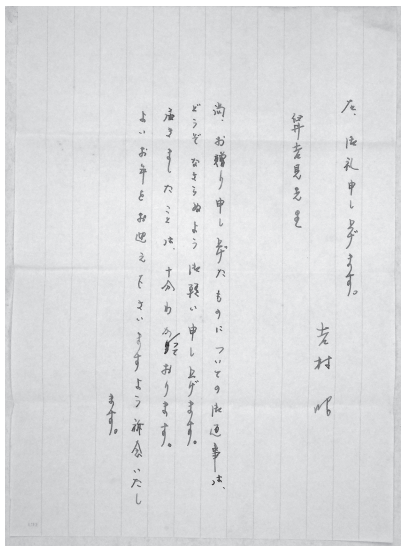
2021（令和3）年5月に臼井吉見の二女増澤フユミ氏から安曇野市へ寄贈された資料群。令和3年度に臼井吉見文学館が開館30周年を迎えるにあたって寄贈された。

資料群には、臼井吉見の色紙や写真、臼井が作詞した堀金中学校校歌の楽譜のほか、唐木順三・川端康成・吉村昭から臼井に宛てられた書簡114点がある。書簡からは、臼井が出会った一人一人と丁寧な親交を重ねてきた様子が伝わってくる。

臼井に関する資料はこの資料群のほかにも、小説『安曇野』・『獅子座』の生原稿や文学館の指定管理者を務めていた「はたるぶくろの会」が収集した資料等がある。

※臼井吉見文学館資料（増澤フユミ氏資料）の中には、一部非公開の資料もあります。

閲覧をご希望の際は、事前に当館へお問い合わせください。



吉村昭からの書簡（資料99 1984（昭和59）年）

登録 番号	年月日	西暦	資料名	出所	備考	形態
1	年代不詳	—	色紙コピー（午過ぎて寒さ動かぬ曇り空辛夷の花は咲き初めにけり）	吉見		その他
2	昭和	—	NOTE II 見たこと・聞いたこと・考えたこと —ヨオロッパの旅—	臼井吉見		洋綴じ
3-1	昭和	—	臼井吉見 写真（赤い帽子・チャン・チャンコ・座布団 松の盆栽 床の間 掛軸 座卓）		カラー写真	写真
3-2	昭和28	1953	臼井吉見 写真（本棚 団扇 浴衣）		3-3と同じ時に撮影したと思われる。	写真
3-3	昭和28	1953	臼井吉見 写真（本棚 団扇 浴衣）		3-2と同じ時に撮影したと思われる。	写真
3-4	昭和28	1953	臼井吉見 写真（和服 本棚 インク壺）			写真
3-5	昭和42	1967	臼井吉見 写真（安曇野第一部執筆中 六十二、三才頃）		3-6と同じ	写真
3-6	昭和42	1967	臼井吉見 写真（和服）		3-5と同じ	写真
3-7	昭和	—	臼井吉見 写真（ワイシャツ 水玉模様のネクタイ 庭 椅子）			写真
3-8	昭和	—	臼井吉見 写真（本棚 ワイシャツ ネクタイ カーディガン 机）			写真
3-9	昭和32	1957	臼井吉見 写真（スーツ ネクタイ 煙草 灰皿 盃 コップ 割り箸 皿）			写真
3-10	昭和32	1957	臼井吉見 写真（スーツ ネクタイ 座布団 コップ 皿）			写真
3-11	昭和	—	臼井吉見 写真（スーツ ネクタイ 煙草 皿 重箱 コップ 徳利 おしぼり 湯呑茶碗）			写真
3-12	昭和	—	臼井吉見 写真（スーツ 菱形模様のネクタイ）		版權所有 講談社 写真部 撮影：津久井 昭	写真
3-13	昭和	—	臼井吉見 写真（本棚 浴衣 灰皿 コップ）		3-14と同じ時に撮影したと思われる。	写真
3-14	昭和	—	臼井吉見（本棚 浴衣 煙草 灰皿 マッチ箱 コップ）		3-13と同じ時に撮影したと思われる。	写真
3-15	年代不詳	—	集合写真（松本高校 学生11人 学生服 制帽 マント 和装一人 室内）			写真
4	昭和41・7・4	1966	臼井吉見 写真（自宅庭にて 和服 腕時計）	金井塚一男	大判サイズ	写真
5	昭和41・7・4	1966	臼井吉見 写真（庭 愛犬（コリー） 半袖開襟シャツ 腕時計）	金井塚一男	大判サイズ	写真
6	昭和47・8・31	1972	書簡 臼井吉見宛	曾野綾子		その他
7	昭和54・9・6	1979	書簡 臼井吉見宛	曾野綾子		その他
8	昭和48・1・8	1973	書簡 臼井吉見宛	竹西寛子		その他
9	昭和52・6・11	1977	書簡 臼井吉見宛	福田清人		その他

登録 番号	年月日	西暦	資料名	出所	備考	形態
10	昭和60・9・3	1985	葉書 臼井吉見宛	曾野綾子	別便で日本酒をお送りした。	絵葉書
11	昭和57・1・14	1982	葉書 臼井吉見宛	三浦綾子	先日紅鮭をお送りした。	葉書
12	昭和29・6	1954	葉書 臼井吉見宛	俳優座 松本克平	手描きの「ルル」の一場面、ルル役は栗原小巻	絵葉書
13	昭和26・9・1	1951	書簡 臼井吉見宛	曾野綾子		その他
14	昭和元	1926	葉書 臼井吉見宛	曾野綾子 サイゴンにて		絵葉書
15	昭和元	1926	葉書 臼井吉見宛	曾野綾子 印度から		絵葉書
16	昭和53・7・17	1978	書簡 臼井吉見宛	串田孫一		その他
17	昭和57・8・15	1982	書簡 臼井吉見宛	串田孫一	『ものいわぬ壺の話』を頂いた事へのお礼	その他
18	昭和52・11・28	1977	葉書 臼井吉見宛	串田孫一	『ほたるぶくろ』を頂いた事へのお礼	葉書
19	昭和47・10・3	1972	葉書 臼井吉見宛	串田孫一	新潮社から別便で本をお届けします。	葉書
20	昭和52・5・17	1977	書簡 臼井吉見宛	串田孫一		その他
21	昭和52・12・27	1977	書簡 臼井吉見宛	稲垣達郎		その他
22	年代不詳	—	書簡 臼井吉見宛	亀井勝一郎		その他
23	昭和43・6・2	1968	書簡 臼井吉見宛	田中澄江		その他
24	昭和47・5・31	1972	書簡 臼井吉見宛	務台理作		その他
25	昭和47・12・16	1972	書簡 臼井吉見宛	井伏鱒二		その他
26	昭和54・6・23	1979	葉書 臼井吉見宛	松本克平 ホテル翠園にて	『アントニーとクレオパトラ』の手描きの第九場面	絵葉書
27	3月6日	—	葉書 臼井吉見宛	松本克平 中藤旅館内	『どん底』の手描きの一場面	絵葉書
28	昭和47・7・15	1972	書簡 臼井吉見宛	宮口しづえ		その他
29	昭和47・7・22	1972	書簡 臼井吉見宛	島本久恵		その他
30	昭和45・9・17	1970	葉書 臼井吉見宛	宮口しづえ	毎月の『展望』を待ちに待っている。新漬のうりを送らせていただいた。	葉書
31	昭和47・5・30	1972	書簡 臼井吉見宛	永井路子	『安曇野』寄贈の礼状	その他
32	昭和48・11・16	1973	葉書 臼井吉見宛	富士正晴	『安曇野』の完成をお祝い申し上げる。	葉書
33	年代不詳	—	書簡 臼井吉見宛	三浦朱門	書簡ではあるが郵便ではない。	その他
34	昭和52・6・4	1977	葉書 臼井吉見宛	荒 正人	川端家のことについて	葉書

登録 番号	年月日	西暦	資料名	出所	備考	形態
35	昭和52・7・22	1977	書簡 臼井吉見宛	荒 正人		その他
36	昭和51・10・18	1976	葉書 臼井吉見宛	中野孝次	『安曇野』四の間違 いを発見したので 念のためお知らせ する。	葉書
37	昭和52・10・8	1977	書簡 臼井吉見宛	唐木順三		その他
38	昭和48・9・19	1973	葉書 臼井吉見宛	上林 暁	ヨーカン有りがた くいただいた。	葉書
39	昭和48・7・21	1973	葉書 臼井吉見宛	上林 暁	『安曇野』(4)有りが たくいただいた。	絵葉書
40	昭和47・5・19	1972	葉書 臼井吉見宛	上林 暁	『安曇野』(3)いた だき有りがたい。	葉書
41	昭和44・4・25	1969	葉書 臼井吉見宛	上林 暁		葉書
42	昭和52・6・8	1977	書簡 臼井吉見宛	竹西寛子		その他
43	昭和47・6・12	1972	葉書 臼井吉見宛	丸山真男		葉書
44	昭和52・9・26	1977	書簡 臼井吉見宛	丸山真男		その他
45	昭和48・8・23	1973	書簡 臼井吉見宛	池田弥三郎	『安曇野』第四部 のお礼	葉書
46	昭和60・3・25	1985	葉書 臼井吉見宛	佐多稲子	『臼井吉見集』の第 三巻を頂いたこと へのお礼	葉書
47	昭和61・12・25	1986	葉書 臼井吉見宛	久保田正文	贈り物に対するお 礼	葉書
48	昭和52・10・4	1977	葉書 臼井吉見宛	武田百合子	「すや」のお菓子 へのお礼	葉書
49	昭和52・12・13	1977	葉書 臼井吉見宛	丸山真男		葉書
50	11月28日	—	葉書 臼井吉見宛	河盛好蔵	『ほたるぶくろ』を 頂戴して有り難い。	葉書
51	昭和46・12・3	1971	葉書 臼井吉見宛	大岡昇平		葉書
52	昭和53・4・9	1978	葉書 臼井吉見宛	小田切秀雄		葉書
53	昭和48・11・30	1973	葉書 臼井吉見宛	中村哲 沖縄宮古にて		絵葉書
54	昭和47・5・26	1972	葉書 臼井吉見宛	坂西志保	『安曇野』第三部を 送っていただいた 事へのお礼	葉書
55	昭和48・12・7	1973	葉書 臼井吉見宛	坂西志保	『展望』の12月号に て『安曇野』の最 終回を拝読した。	葉書
56	昭和44	1969	葉書 臼井吉見宛	三浦光世 綾子	年賀状	葉書
57	昭和47・12・15	1972	葉書 臼井吉見宛	藤枝静男	中津川のお菓子を 頂いた事へのお礼	葉書
58	昭和47	1972	葉書 臼井吉見宛	藤枝静男	年賀状	葉書
59	昭和48・7・23	1973	葉書 臼井吉見宛	藤枝静男	『安曇野』に対する お礼	葉書

登録 番号	年月日	西暦	資料名	出所	備考	形態
60	昭和47・8・23	1972	葉書 臼井吉見宛	藤枝静男		葉書
61	昭和48・11・16	1973	葉書 臼井吉見宛	藤枝静男	『展望』を送ってもらった事へのお礼	葉書
62	昭和54・10・15	1979	葉書 臼井吉見宛	藤枝静男	名物に対するお礼	葉書
63	昭和52・11・29	1977	葉書 臼井吉見宛	井伏鱒二	『ほたるぶくろ』を頂いた事へのお礼	葉書
64	昭和47・1・5	1972	葉書 臼井吉見宛	井伏鱒二	年賀状	葉書
65	昭和52・6・22	1977	葉書 臼井吉見宛	永井龍男		葉書
66	昭和52・8・17	1977	書簡 臼井吉見宛	利根川裕		その他
67	昭和47・1・27	1972	書簡 臼井吉見宛	瀬戸内晴美	臼井が記した評伝へのお礼	その他
68	昭和54・10・23	1979	書簡 臼井吉見宛	井伏鱒二		その他
69	昭和56・12・14	1981	書簡 臼井吉見宛	加賀乙彦	『獅子座』を送ってもらった事へのお礼	その他
70	昭和52・12・24	1977	書簡 臼井吉見宛	池田弥三郎	『ほたるぶくろ』を頂いた事へのお礼	その他
71	昭和52・6・22	1977	書簡 臼井吉見宛	浦松佐美太郎		その他
72	昭和47・5・7	1972	葉書 臼井吉見宛	石川達三	『安曇野』第三部拝受しました。	葉書
73	昭和48・3・9	1973	葉書 臼井吉見宛	唐木順三		葉書
74	10月13日	—	葉書 臼井吉見宛	唐木順三		葉書
75	昭和52・6・14	1977	葉書 臼井吉見宛	串田孫一	『事故のてんまつ』を頂いた事へのお礼	葉書
76	昭和47・5・7	1972	葉書 臼井吉見宛	藤枝静男	『安曇野』第三部を頂いた事へのお礼	葉書
77	昭和46・10・13	1971	葉書 臼井吉見宛	藤枝静男	No.78は後半部分	葉書
78	昭和46・10・13	1971	葉書 臼井吉見宛	藤枝静男	No.77は前半部分	葉書
79	昭和52・11・28	1977	葉書 臼井吉見宛	尾崎一雄	『ほたるぶくろ』を拝受しました。	葉書
80	昭和52・7・30	1977	書簡 臼井吉見宛	荒 正人	『近代文学論争』のお礼	その他
81	昭和53・7・13	1978	書簡 臼井吉見宛	河盛好蔵	『文学雑誌』『炬ばた談義』を頂いた事へのお礼	その他
82	7月6日	—	書簡 臼井吉見宛 お見舞	河盛好蔵		その他
83	昭和54・12・28	1979	書簡 臼井吉見宛	井伏鱒二		その他
84	昭和54・11・11	1979	書簡 臼井吉見宛	河盛好蔵	大仏賞受賞に際し祝詞を頂戴した事へのお礼	その他
85	昭和47	1972	葉書 臼井吉見宛	北 杜夫	『安曇野』を送って頂いた事へのお礼	葉書

登録 番号	年月日	西暦	資料名	出所	備考	形態
86	昭和52・11・29	1977	葉書 臼井吉見宛 寒中見舞	北 杜夫	『ほたるぶくろ』を送って頂いた事へのお礼	葉書
87	昭和44・11・21	1969	書簡 臼井吉見宛	川端康成	臼井の体調を気遣う内容	その他
88	4月10日	—	葉書 臼井吉見宛	中野重治		葉書
89	昭和52・10・1	1977	葉書 臼井吉見宛	中野重治	栗きんとんを頂戴した事へのお礼	葉書
90	昭和48・2・23	1973	葉書 臼井吉見宛	中野重治		葉書
91	昭和52・5・24	1977	葉書 臼井吉見宛	中野重治	『作家論控え帳』に対するお礼	葉書
92	昭和52・4・16	1977	葉書 臼井吉見宛	久保田正文	『事故のてんまつ』を一気に読んだ。	葉書
93	7月13日	—	葉書 臼井吉見宛	小田切秀雄	『炬ばた談義』のお礼	葉書
94	昭和53・7・14	1978	葉書 臼井吉見宛	小田切 進	『炬ばた談義』のお礼	葉書
95	昭和52・4・21	1977	書簡 臼井吉見宛	浦松佐美太郎	『事故のてんまつ』について	その他
96	昭和53・7・20	1978	書簡 臼井吉見宛	丸山真男	『炬ばた談義』へのお礼	その他
97	昭和52・4・12	1977	書簡 臼井吉見宛	山口 瞳	『事故のてんまつ』について	その他
98	昭和53カ	1978	書簡 臼井吉見宛	吉村 昭	『炬ばた談義』について	その他
99	昭和59・12・26	1984	書簡 臼井吉見宛	吉村 昭		その他
100	昭和58・11・16	1983	書簡 臼井吉見宛	吉村 昭	馬鈴薯メイクインを送ったことについて	その他
101	昭和52・9・24	1977	書簡 臼井吉見宛	井伏鱒二	栗きんとんのお礼	その他
102	昭和47	1972	葉書 臼井吉見宛 年賀状	上林 暁		葉書
103	昭和47・1・27	1972	葉書 臼井吉見宛 年賀状	大岡昇平		葉書
104	10月26日	1958	葉書 臼井吉見宛 エアメール	火野葦平 サンフランシスコにて		絵葉書
105	昭和48・11・17	1973	葉書 臼井吉見宛	伊馬春部 山陽線車中にて		その他
106	7月14日	—	葉書 臼井吉見宛	山崎朋子	『炬ばた談義』の感想	絵葉書
107	2月7日	—	書簡 臼井吉見宛	山崎朋子		その他
108	昭和46・1・	1971	葉書 臼井吉見宛	上林 暁		絵葉書
109	昭和52・5・31	1977	書簡 臼井吉見宛	本多秋五	『作家論控え帳』や『事故のてんまつ』について	その他

登録 番号	年月日	西暦	資料名	出所	備考	形態
110	昭和47・8・23	1972	葉書 臼井吉見宛	上林 暁	栗かのこのお礼	葉書
111	昭和53・4・14	1978	葉書 臼井吉見宛	竹西寛子	新著を頂いた事へのお礼	葉書
112	昭和52・11・28	1977	葉書 臼井吉見宛	藤枝静男	『ほたるぶくろ』を頂いた事へのお礼	葉書
113	昭和52・5・31	1977	葉書 臼井吉見宛	木下順二		葉書
114	昭和53・7・10	1978	葉書 臼井吉見宛	尾崎一雄	『炉ばた談義』を頂いた事へのお礼	葉書
115	昭和53・7・11	1978	葉書 臼井吉見宛	丹羽文雄		葉書
116	昭和52・6・6	1977	葉書 臼井吉見宛	和田芳恵	『事故のてんまつ』を頂いた事へのお礼	葉書
117	30日	—	葉書 臼井吉見宛	佐多稲子		葉書
118	昭和45・8・6	1970	書簡 臼井吉見宛	三浦綾子		その他
119	昭和48・1・1	1973	書簡 臼井吉見宛	島本久恵		その他
120	昭和28・11・3	1953	堀金中学校校歌 楽譜 臼井吉見作詞 芥川也寸志作曲	堀金中学校		その他
121	昭和58・11・24	1983	安西道子さんのこと	臼井吉見	コピー、原稿用紙に書かれている。	その他
122	昭和52・5・13	1977	作者弁明のこと —「事故のてんまつ」をめぐって—	臼井吉見	原稿用紙28枚、コピー	その他
123	昭和32・4・13	1957	賞状 (『近代文学論争』における国文学界への貢献に対して)	文部大臣 灘尾弘吉	No124と同じ筒	その他
124	昭和4・3・31	1929	(東京帝国大学文学部国文学科学士試験合格証)	東京帝国大学文学部長従四位勲三等文学博士 瀧 精一	No123と同じ筒	その他
125	年代不詳	—	色紙 (滾々汨々)	臼井吉見	臼井の墓碑名・臼井が好きな言葉	その他
126	年代不詳	—	色紙 (ものの見えたる光 いまだ心に消えざるうちにばせをの言葉をしるす)		臼井が好んだ芭蕉の句	その他
127	昭和	—	自宅にて 70代 和服			写真
128	昭和	—	自宅にて 和服 書架の前			写真
129	年代不詳	—	扁額 (伊那の谷 すでに日暮れて仙丈は 明るきままに 雪映えにけり)		明治10年～15年まで勤務した旧制伊那中 (現伊那北高校) 時代に詠んだ句	その他
130	平成元	1989	扁額 (唐木順三 三回忌の言葉)			その他